

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	乳癌術前化学療法のア奏効率と術後転移再発に関連するバイオマーカーの検索
	研究目的	手術可能な乳癌のうち術前化学療法を施行した症例を対象に、術前化学療法ア奏効率、術後転移再発率及び転移再発様式について、サブタイプ別病理学的特徴を検討する。 さらに、治療開始前の乳癌原発巣、治療後の乳癌原発巣、術後転移再発巣からの生検及び手術検体を用いて RNA シークエンスを行い、術前化学療法のア奏効率及び転移再発に関わるバイオマーカーの検索を行う。
	研究対象者	2007 年 1 月～2016 年 12 月までに当院及び関連施設にて術前化学療法後に乳癌手術を施行した症例
	研究期間	西 暦 2019 年 2 月 1 日 ～ 西 暦 2020 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	乳腺内分泌外科 医長 菅沼伸康
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等 共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	乳腺内分泌外科  東京医科大学乳腺科学部門 助教 浅岡真理子 横浜市立大学市民医療センター乳腺甲状腺外科 助教 成井一隆 横浜市立大学 臨床腫瘍乳腺外科 助教 菅江貞亨 横浜みなと赤十字病院 乳腺外科 部長 清水大輔  Roswell Park Cancer Institute Kazuaki Takabe, M.D., Ph.D., FACS Professor of Oncology, Alfiero Foundation Chair and Clinical Chief of Breast Surgery Leader of Breast Program and Breast Disease Site, Breast Oncology Fellowship Program Director 665 Elm St, Buffalo, NY 14203 USA